

2017年4–6月期 転職時の賃金変動状況

「前職と比べ賃金が1割以上増加した転職決定者数の割合」は28.1%
前年同期比0.9ポイント低下

株式会社リクルートキャリア（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小林大三）が提供する転職支援サービス『リクルートエージェント』における2017年4–6月期の「転職時の賃金変動状況」を報告します。「転職時の賃金変動状況」では、“転職決定者の賃金は転職前後でどのように変化しているのか”という点に着目し、「前職と比べ賃金が明確に（1割以上）増加した転職決定者数の割合」の経年変化を観察していきます。

【算出式】

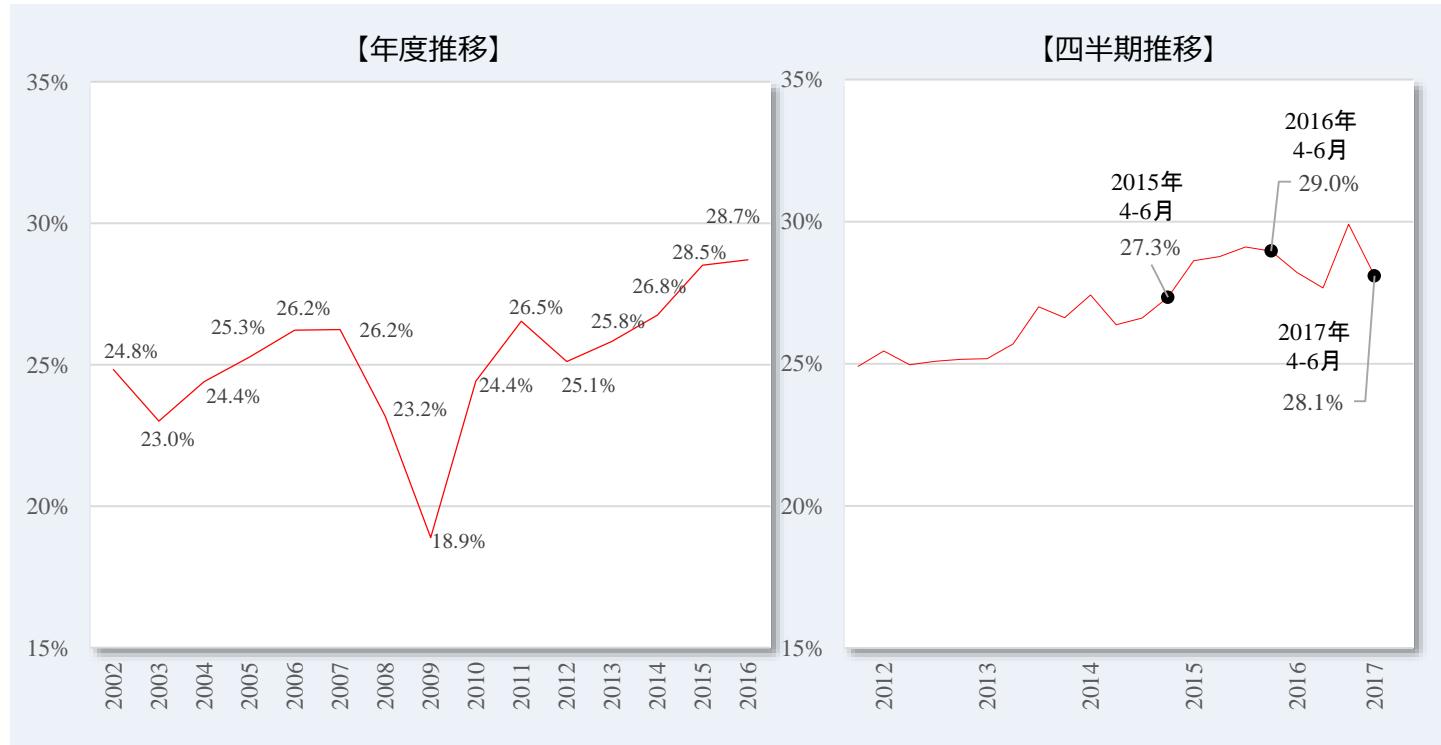
$$\frac{\text{「前職と比べ賃金が1割以上増加した転職決定者数}}{\text{「転職決定者数合計}}} \times 100 \text{ (単位 : %)}$$

※ 前職（転職前）の賃金は時間外労働等の「変動する割増賃金」を含む一方、転職後の賃金にはそれらが含まれないため「前職と比べ賃金が1割以上増加した転職決定者数の割合」は実態よりも低めの値となる傾向があります。

■全体

- 4–6月期の「前職と比べ賃金が1割以上増加した転職決定者の割合」は28.1%。

– 2013年度以降、上昇基調が続いているが、2017年4–6月期は前年同期比0.9ポイント低下。



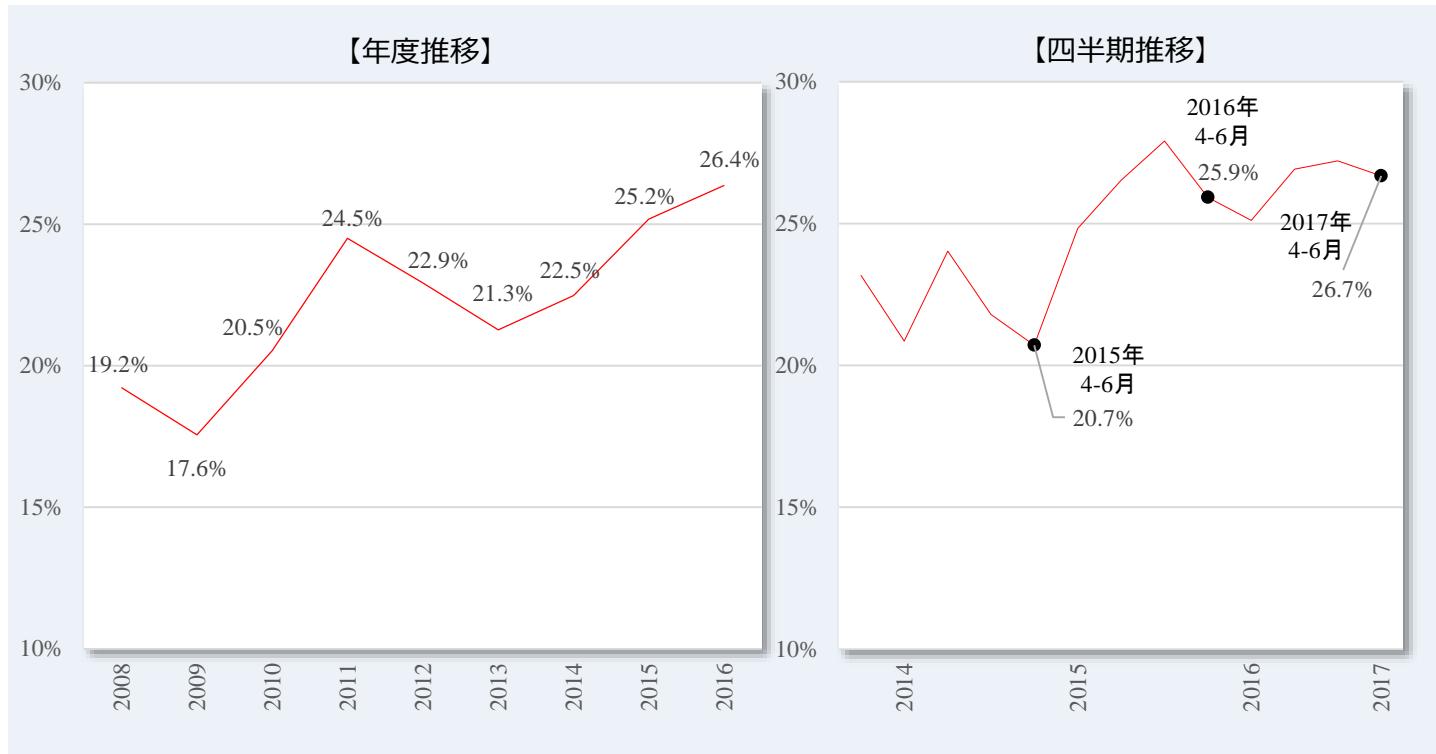
【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社リクルートキャリア 広報部 社外広報グループ
TEL: 03-3211-7117 Mail: kouho@waku-2.com

リクルートキャリアではこれからもひとりひとりにあった「まだ、ここにない、出会い。」を届けることを目指していきます。

■職種別

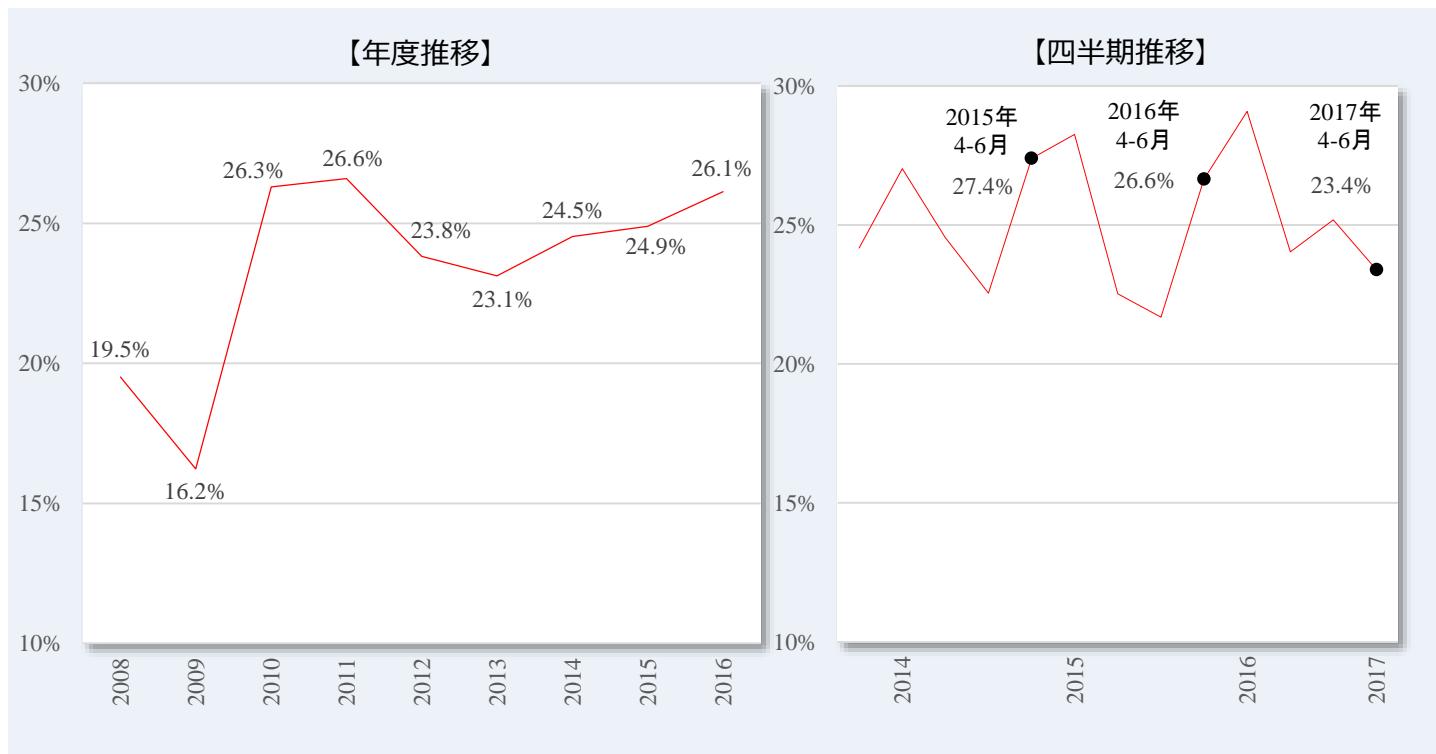
- IT系エンジニア：4-6月期の「前職と比べ賃金が1割以上増加した転職決定者の割合」は26.7%。

- 2014年以降上昇基調が続いており、2017年4-6月期も前年同期比0.8ポイント上昇。



- 機械・電気・化学エンジニア：4-6月期の「前職と比べ賃金が1割以上増加した転職決定者の割合」は23.4%。

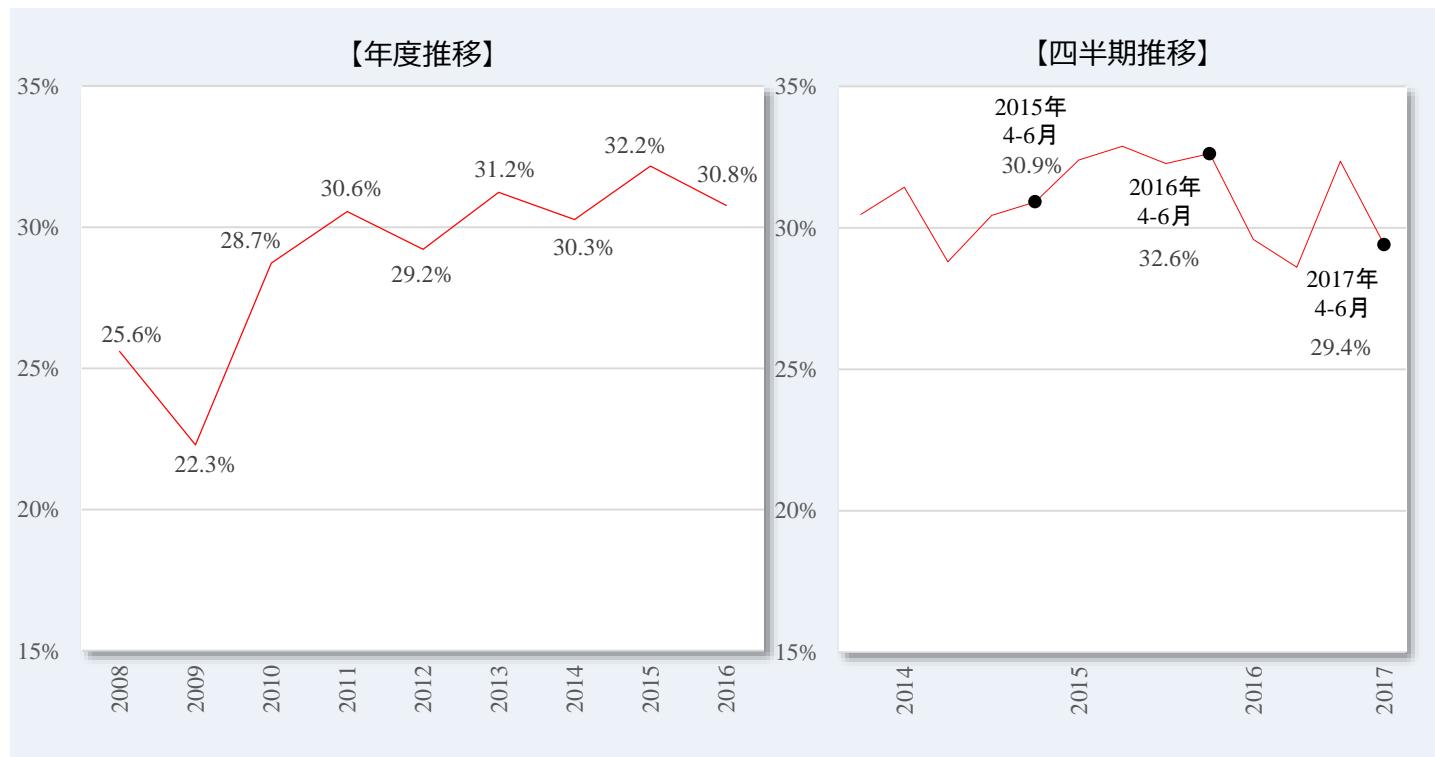
- 2014年度以降は緩やかな上昇を続けていたが、2017年度4-6月期は前年同期比3.2ポイント低下。



■職種別

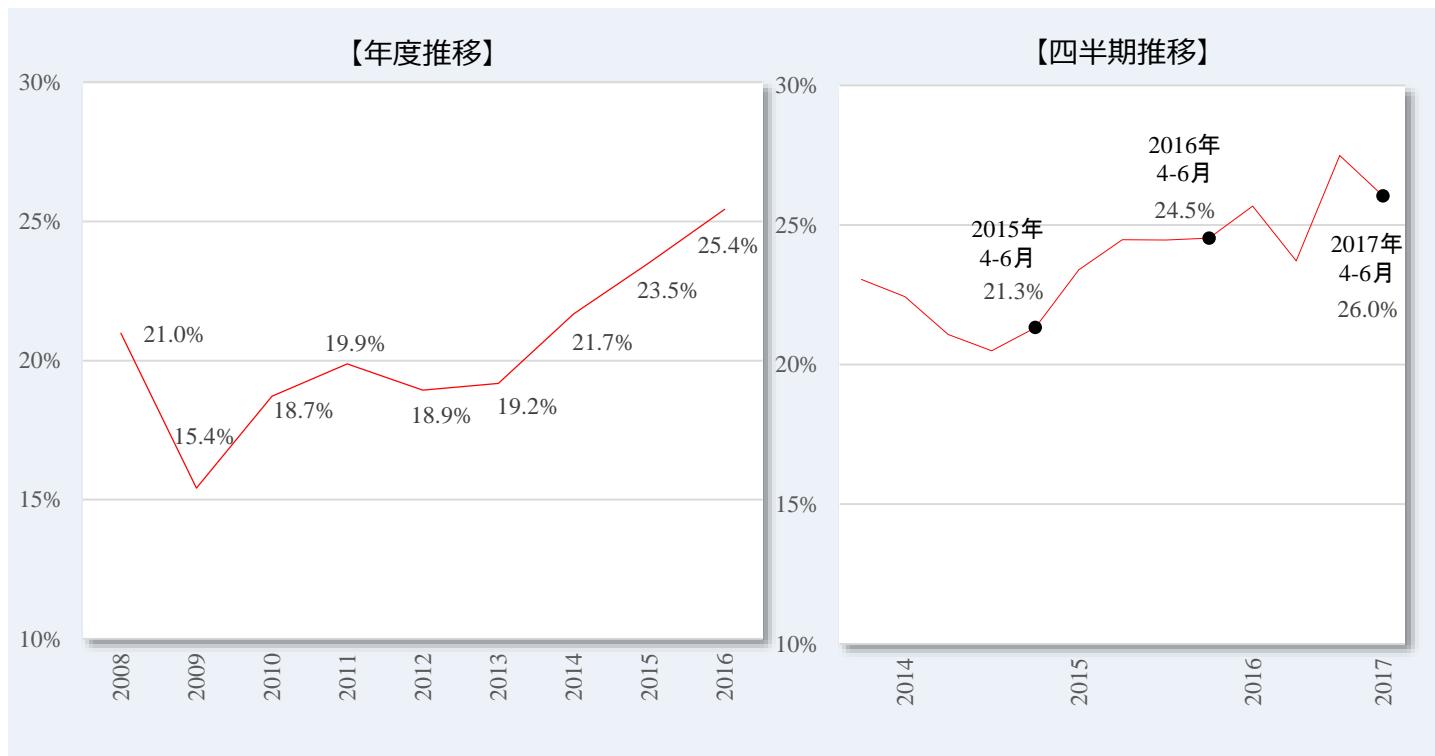
● 営業職：4-6月期の「前職と比べ賃金が1割以上増加した転職決定者の割合」は29.4%。

- 2011年度以降は、振れを伴いつつも緩やかな上昇が続いていたが、2017年度4-6月期は前年同期比3.2ポイント低下。



● 事務系専門職：4-6月期の「前職と比べ賃金が1割以上増加した転職決定者の割合」は26.0%。

- 2014年以降上昇基調が続いており、2017年4-6月期も前年同期比1.5ポイント上昇。



■職種別

- **接客・販売・店長・コールセンター**：4-6月期の「前職と比べ賃金が1割以上増加した転職決定者の割合」は**32.2%**。

- 2011年度以降上昇基調が続いていたが、2017年度4-6月期は前年同期比3.2ポイント低下。



免責事項：

掲載されている数値は、転職支援サービス「リクルートエージェント」のデータをもとに、リクルートキャリアが独自に算出したものです。
情報の内容の正確性については万全を期しておりますが、その時点での提供可能な情報であり、その正確性を保証いたしかねますこと、あらかじめご了承ください。
またシステムにおける障害の発生、システムのメンテナンス等のため、情報提供を一時的に停止する場合があります。

■ 職種分類対応表

毎月公表している「転職求人倍率」における職種分類と「転職時の賃金変動状況（当資料）」における職種分類は以下の通り対応しています。

